

大阪民医連学術運動交流集会

孤立無援の女性たちに 関心・興味を持ち 安全・安心空間を



2月11日に大阪民医連学術運動交流集会がオンライン開催されました。午前中は琉球大学教育学研究科教授の上間陽子さんによる記念講演でした。上間さんは沖縄で教鞭をとられながら若年妊産婦の保護施設である「おにわ」の代表を務められています。

上間さんは子どもの相対的貧困率が3割を超えていると言われる沖縄で、DVやネグレクトなどの家族関係の厳しさや、初めての職業が風俗業で働く女性への調査をされました。その調査を通じて見えてきた表には出てこない想像をはるかに超える生活状況の中で、どう女性が生き抜こうとしているか、自分たちの支援はどう援助になっているかについて、お話いただきました。



周りから否定され、性被害や家庭内暴力などによる身体的・精神的な自由を奪われてきた孤立無援の女性「ママ」たちへ、安全な場所を提供し、存在を認めてあげること、そして良いパートナーであり続ける活動をされて

います。そのためその人に関心・興味を持ち、そして安全・安心の空間を提供し、常に「ママ」の視点に必ず立ち返ることを大切にしていると強調されました。

午後からは20の分科会に分かれて172演題の演題発表が行われました。どの発表も新しい気づきがあり、今この人に対して何ができるかをスタッフ全体で支え合う取り組みが多数報告されま

した。各分科会では一番ステップアップに對して、座長賞が1人選ばれました。みみはらグループ内の受賞者は6人の方でした(左記)。

座長賞を受賞された方だけでなく、全発表者、共同演者のみなさん、それを支えた職場の皆さん、お疲れさまでした!(みみはら 在宅クリニック 事務長 大隅 利隆)

座長賞

●こんな汚いところに来てもらいたくないわ! 認知症の方が疥癬に:

ひまわりの家蔵前

ヘルパー 門林とも子さん

●入院か、在宅か?心の揺れに寄り添い自宅看取りができた事例報告

耳原訪問看護ステーションみなと

看護師 供田津由子さん

●頸髄損傷を受傷し、難渋しながらも動作獲得を目指した症例

耳原総合病院 リハビリテーション室

作業療法士 梨木 文子さん

●病識が乏しく、退院後の生活へのイメージが難しい患者様に対する自宅退院に向けての関わり

耳原総合病院 リハビリテーション室

理学療法士 芝原 達弥さん

●日本で生きる外国人と無料低額診療

耳原総合病院 サポートセンター

MSW 窪田愛裕美さん

●外来における急変時対応の取り組み

みみはら高砂クリニック

看護師 井手 典子さん

看護技術を身に付けて

泉州看護

専門学校

卒業式

3月1日、暖かな春の日差しのもと、39期生の卒業式が行われました。3年前に入學して1週間足らずで、コロナ禍の影響で自宅学習、リモート講義に切り替わり、新しい環境で慣れないことに戸惑いながら看護学生としてスタートした学年です。

その後6月から学校が再開し、改めて対面講義のありがたさを感じつつ、新しい友人と元気に学校生活を送ることが出来ました。

高校とは違い、専門的な学習を行い、学内での実技で看護技術を身に付け病院での実習に臨み、患者から多くの学びを得て深めています。

3回生ではより専門的な実習に取り組みました。実習当初は、戸惑いもありましたが、実習が進むにつれ、患者の疾患からアセスメントし、患者の個性に応じた看護を行うことなどをしっかりと学ばることができました。

今回は、5年ぶりに各病院の方



「研修医育成」に皆さまの声を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)



その後、5年ぶりに各病院の方

た経験を、看護師として臨床地で結び付けつつ、患者・住民の立場に立つ看護とは何かを常に考え実践できる看護師として頑張ることを願っています。

(泉州看護専門学校 3回生担任 松本小有紀)

理事会報告

2月理事会〈概要〉

開催日時: 2月22日(木)

午後6時~7時54分

出席: 理事 24名

監事 3名

〈主な内容〉

◆報告

- ・ 拡大常任理事会、各種委員会概要
- ・ 健康友の会みみはら、社保・平和のと

◆協議確認事項

- ・ 評議員の選任について
- ・ 高石診療所のダイヤケア事業の老健みみはらへの統合について
- ・ 定例評議員会の開催について

りくみ

- ・ 無料低額診療の各事業所実績
- ・ 2024年1月度決算概要
- ・ 鳳工リア建て替えの進捗報告